



系満市小中一貫教育通信

第7号 令和3年9月15日（水）系満市教育委員会

【第4回系満市立高嶺小中一貫教育校準備委員会開催】

日時：令和3年9月15日（水）18:35～19:45
場所：系満市農村環境改善センター ホール
議事：



1. 高嶺小中一貫教育校における教科担任制及び乗り入れ指導について

提案概要

現在、小学校で考えられる教科担任制の類型

- ▣ 特定教科における専科指導
- ▣ 学級担任間の授業交換
- ▣ 専科教員と学級担任とのTT

小学校高学年での教科担任制における専科加配教諭配置と合わせて、中学校教員による乗り入れ授業を実施する予定です。

具体例

教科 クラス	国語	算数	理科	社会	音楽
6年1組 担任A	A	B	C	D・A	E
6年2組 担任B	A	B	C	D・B	E

※Cは小学校担任外教員、D及びEは中学校教員

主な意見

- ・教科担任制及び乗り入れ指導の計画について賛成ですが、乗り入れ指導を行うには学校の教職員を増やす必要があります。開校後の令和6年度以降の増員では手遅れとなるため、それ以前に加配をお願いします。

2. 高嶺小中一貫教育校における特色ある取り組みについて

提案概要

令和6年度開校（予定）の高嶺小中一貫教育校において、将来の予測が難しい社会の中でも「未知の社会を生き抜く力」、「未来を作り出していくために必要な力」を身につけるための特色ある取り組みとして、次のとおり提案します。

- ☆ 英語教育の充実（教育課程特例校制度及び授業時数特例校制度の導入）
- ☆ 学年区分4-3-2制の導入による小中の滑らかな接続（中1ギャップの解消）
- ☆ 中学校教員による小学校高学年への乗り入れ授業
- ☆ 小規模特認校制度の導入
- ☆ 少人数学級編成による指導の充実
- ☆ 地域資源を活かしたふるさと学習の充実



主な意見

- ・現在、教育課程特例校制度により海人科がありますが、英語教育を実施するとなった場合は、文部科学省における諸手続きにより海人科から英語教育に変更するという認識でいいですか。⇒ご意見のとおりです。

3. 高嶺小中一貫教育校の制服に関するアンケート調査結果について

結果報告

去る令和3年3月、意見の集約を目的に、高嶺小学校5・6年生とその保護者、高嶺中学校1・2年生とその保護者及び高嶺小・中学校区の自治会（各5部）を対象に実施したところ約78%の回収率となりました。調査の結果、慎重な意見も多かったことから直ちに制服のデザインを変更すべきとはなりません。昨今の社会情勢を踏まえると、性的マイノリティの生徒への配慮に加えて防寒面等の観点から制服選択制の導入に向けて前向きに検討すべきだと考えます。なお、回答者の貴重な意見は今後の施策に生かさせていただきます。



主な意見

- ・調査に応じる際、夫婦で話し合ったものの意見が分かれたため、考え方は人それぞれだと感じました。
- ・開校に向けて制服は変えるべきだと思っているため、方針を固めて自治会に同意して頂く方法が望ましい。
- ・当然愛着はあるが、開校にあたっては刷新すべきで、自治会と話し合う場を設ける必要があると思います。
- ・殆どの住民に知らされていないため、変更する場合は自治会の住民向けの説明会を行うべきだと考えます。
- ・制服選択制導入等を打ち出せば制服を変更する合理的な理由となり大方が納得するのではないかと思います。
- ・自分自身の経験から、中学生が声を上げにくいことを考えれば、制服選択制は導入すべきという意見です。